

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2018年7月31日から2028年7月14日までです。	
運用方針	アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として先進国の医療テクノロジー関連企業の株式に投資を行うことにより、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）	アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド受益証券
	アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド	先進国の医療テクノロジー関連企業の株式
組入制限	アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。同一銘柄の株式への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。
	アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。同一銘柄の株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	毎決算時（年2回、原則毎年1月および7月の各15日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

愛称：みらいメディカル
 アムンディ・
 次世代医療テクノロジー・
 ファンド（年2回決算型）

運用報告書（全体版）

第4期（決算日 2020年7月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに、期中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

お客様サポートライン 0120-202-900（フリーダイヤル）

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分 配 落)	税 込 配 金	期 騰 落 中 率	株 式 組 入 率	純 資 産 額
(設 定 日)	円	円	%	%	百万円
2018年7月31日	10,000	—	—	—	4,786
1 期 (2019年1月15日)	8,967	0	△10.3	96.7	34,521
2 期 (2019年7月16日)	10,080	500	18.0	97.2	41,751
3 期 (2020年1月15日)	10,465	600	9.8	96.3	38,607
4 期 (2020年7月15日)	10,018	150	△2.8	95.4	42,840

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額(10,000円)、純資産総額は設定元本を表示しております。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は実質組入比率を記載しております。以下同じ。

(注4) 当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

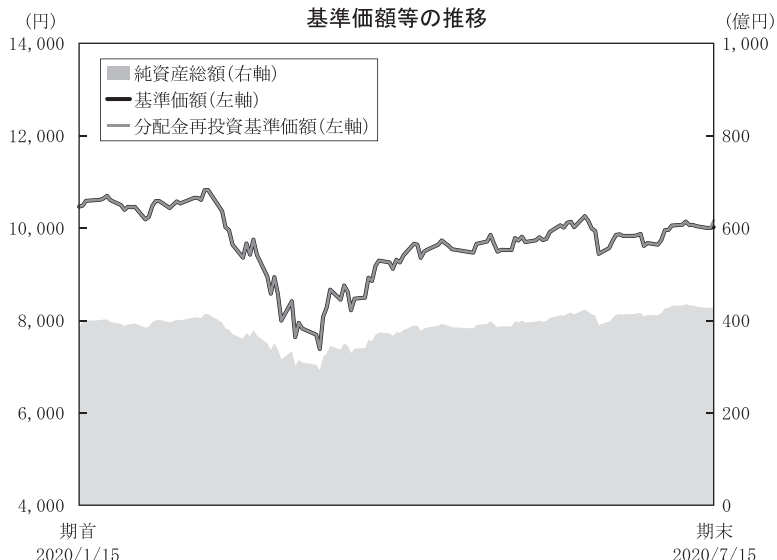
■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		株 式 組 入 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首)	円	%	%
2020年1月15日	10,465	—	96.3
1 月 末	10,458	△0.1	96.5
2 月 末	9,639	△7.9	95.4
3 月 末	8,757	△16.3	95.5
4 月 末	9,613	△8.1	94.4
5 月 末	9,918	△5.2	95.2
6 月 末	9,743	△6.9	95.9
(期 末)			
2020年7月15日	10,168	△2.8	95.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

【基準価額等の推移】

第4期首	10,465円
第4期末	10,018円
既払分配金 (税込み)	150円
騰落率	△2.8% (分配金再投資ベース)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2020年1月15日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

【基準価額の主な変動要因】

下落要因

- ① 2月下旬から3月下旬にかけて、新型コロナウイルスの世界的な流行で景気の不透明感が著しく強まり、株式市場が全面安となったこと
- ② 同期間以降、特に整形外科、歯科、眼科や心血管関連の銘柄の一部が、予定手術や治療措置の先送りなど、新型コロナウイルスの影響を強く受けて足元の業績が悪化したこと
- ③ 2月下旬から3月中旬にかけて円高となったこと

上昇要因

- ① 3月下旬から6月上旬にかけて、各国の積極的な財政金融政策や、新型コロナウイルス対策への期待を支えに株式市場が大きく反発したこと
- ② 同期間において、診断機器や呼吸補助機器など、一部の医療テクノロジー銘柄には、新型コロナウイルス対策の需要が追い風となったこと

【投資環境】

<世界株式市場>

世界株式市場は、好業績を好感して当期初から2月半ばまで最高値を更新する展開でしたが、新型コロナウイルスの中国外での感染拡大が明瞭となり、移動制限などの景気への影響が懸念され始めた2月下旬から急落しました。原油価格の暴落も不透明要因となり、3月下旬までの株価下落の大きさとスピードは歴史的なものとなりました。大規模経済対策への期待から株価は3月下旬に反発に転じ、新型コロナウイルス対策の成功と移動制限解除への期待から6月上旬まで続伸しました。6月中旬以降は感染第2波や米中関係悪化への懸念が逆風となる一方、低金利と一部の景気指標の改善が支えとなる展開が当期末まで続きました。

セクター別にみると、情報技術は4月以降の反発で最高値を大きく更新した一方、エネルギー、金融などは3月の下落が大きく、それ以降の反発も鈍いまま当期末を迎えました。ヘルスケアは4月には当期初の水準を回復、医療テクノロジー関連も当期末にかけて当期初の水準まで戻しました。

<為替市場>

当期の米ドル/円相場は、110円前後で始まり、一時112円台まで円安が進みましたが、2月下旬以降の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、3月上旬には102円前後まで急速な円高となりました。この局面では豪ドルなど資源国通貨の下落が米ドル以上に大きなものとなりました。その後は米ドル現金保有に対する需要が強まり、3月下旬には再び110円を超したものの、3月下旬以降は米国の積極的な金融緩和が効いて米ドル不足は解消し、当期末の107円前後まで円高・米ドル安傾向となりました。

【ポートフォリオ】

<当ファンド>

当ファンドは、アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンドを通して、主に先進国の医療テクノロジー関連企業の株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行っております。当期においても、運用の基本方針に基づきマザーファンドの組入比率は高位を維持しました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

<アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド>

当マザーファンドは、バリュエーションと業績見通しなどの変化に対応して銘柄入替えと組入比率の調整を行いながら、50銘柄あまりから構成されるポートフォリオ運用を行いました。期を通じて高い組入れを維持したのは、アボットラボラトリーズ、ダナハー、メドトロニック、ベクトン・ディッキンソンなどで、ダナハーやアボットラボラトリーズなど診断機器に強い銘柄やデクスコムなど糖尿病関連は基準価額上昇に寄与しましたが、心血管関連や整形外科関連銘柄では、メドトロニックなど新型コロナウイルスのために手術が先送りされる影響で下落する銘柄が目立ちました。新規投資銘柄はコンバテックや日本光電工業など、全売却はニューベイシブなどでその中には期中新規投資したものの見通しの急変で全売却したナショナル・ビジョンなども含まれます。市場別では期初76%超であった米国への配分が74%台に微減となった一方、欧州が13%まで増加しました。日本を含むアジア・オーストラリアへの配分はおおむね9%台で推移しました。

(CPRアセットマネジメント)

【分配金】

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、分配を行いました（分配金額および分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

【今後の運用方針】

<当ファンド>

アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンドへの投資比率は今後も高位を維持する予定です。
(アムンディ・ジャパン株式会社)

<アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド>

短期的には、マクロ経済指標、新型コロナウイルス関連のニュース、米大統領選挙、地政学的な緊張などが引き続きリスク要因ですが、超低金利の長期化観測が株価を支えるものとみられます。医療テクノロジー銘柄は、こうした目先の困難な状況を乗り越え、長期的な成長を維持することができると期待しています。多くの治療領域でイノベーションがみられること、テクノロジーの一段の普及、安定的な価格設定、新興国での需要拡大などが長期的な追い風となっています。コンセンサス予想に基づくバリュエーションはやや高いものの、コンセンサス予想は当セクターの成長を支える要因を過小評価していると考えます。引き続き、魅力的な新製品を市場投入して利益率の改善が見込まれ、売上高に対して短期的な逆風があっても耐え得る能力が高い、大型で多角化が進んだ銘柄を選好します。また、中小型銘柄の中では、新しい治療領域への進出、革新的な技術や新製品の発売といった成長要因に注目して銘柄を選別する方針です。

(CPRアセットマネジメント)

アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第4期 (2020年1月16日 ～2020年7月15日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	86円 (42) (42) (2)	0.892% (0.438) (0.438) (0.016)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	1 (1) (0)	0.007 (0.007) (0.000)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.006 (0.006)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷 費 用) (そ の 他)	2 (1) (0) (0) (0)	0.017 (0.008) (0.004) (0.005) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	90	0.922	

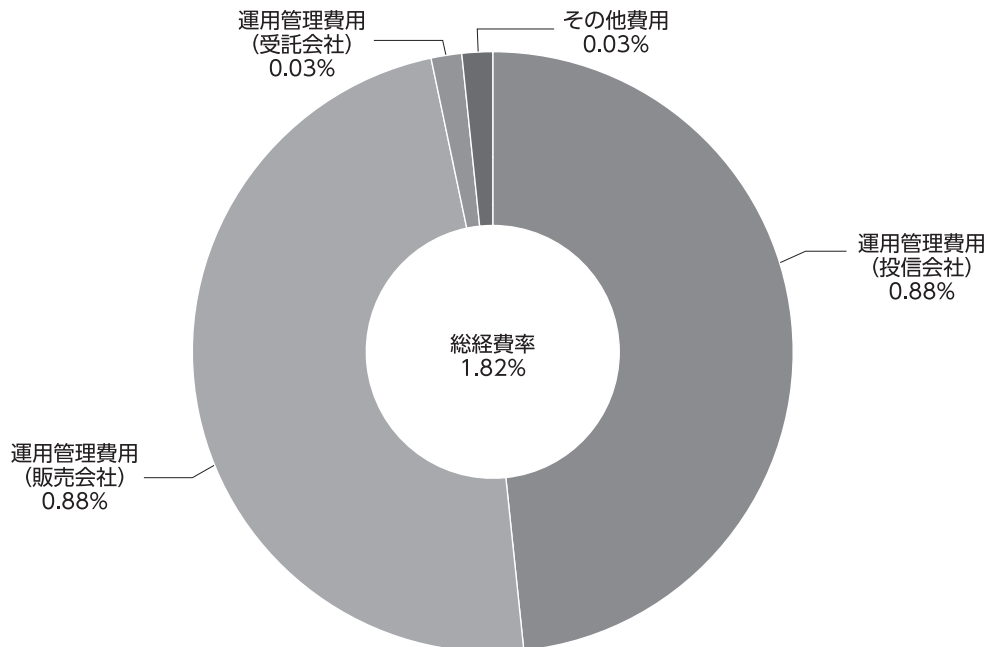
期中の平均基準価額は9,688円です。

- (注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応する費用を含みます。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）

■売買及び取引の状況（2020年1月16日から2020年7月15日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド	4,829,031	5,400,000	769,933	900,000

(注) 単位未満は切捨てです。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	17,189,476千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	36,997,502千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	0.46

(注1) 単位未満は切捨てです。

(注2) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注3) 金額は、外貨建金額を日本の対顧客電信売買相場の仲値より邦貨換算したものです。

■利害関係人との取引状況等（2020年1月16日から2020年7月15日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）

■組入資産の明細（2020年7月15日現在）

親投資信託残高

銘	柄	期首（前期末）	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド		31,490,577	35,549,675	42,041,046

(注1) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド全体の受益権口数は、当期末35,549,675千口です。

■投資信託財産の構成（2020年7月15日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド	42,041,046	95.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,975,082	4.5
投 資 信 託 財 産 総 額	44,016,128	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（38,398,482千円）の投資信託財産総額（42,042,793千円）に対する比率は91.3%です。

(注3) 外貨建資産は、当期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、2020年7月15日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=107.30円、1ユーロ=122.43円、1英ポンド=134.92円、1スイスフラン=114.11円、1スウェーデンクローナ=11.81円、1デンマーククローネ=16.44円、1オーストラリアドル=74.98円、1ニュージーランドドル=70.22円

アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2020年7月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	44,016,128,998円
コール・ローン等	1,975,082,913
アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド（評価額）	42,041,046,085
(B) 負 債	1,175,487,562
未払収益分配金	641,428,376
未払解約金	185,977,707
未払信託報酬	344,612,667
未払利息	4,274
その他未払費用	3,464,538
(C) 純資産総額(A-B)	42,840,641,436
元 本	42,761,891,750
次期繰越損益金	78,749,686
(D) 受益権総口数	42,761,891,750口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,018円

(注記事項)

期首元本額	36,891,454,720円
期中追加設定元本額	12,141,385,484円
期中一部解約元本額	6,270,948,454円

■損益の状況

当期 自2020年1月16日 至2020年7月15日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 362,233円
支 払 利 息	△ 362,233
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 224,081,616
売 買 益	226,474,799
売 買 損	△ 450,556,415
(C) 信 託 報 酬 等	△ 348,199,308
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 572,643,157
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,327,493,339
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 34,672,120
(配 当 等 相 当 額)	(543,872,492)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 578,544,612)
(G) 計 (D+E+F)	720,178,062
(H) 収 益 分 配 金	△ 641,428,376
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	78,749,686
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 34,672,120
(配 当 等 相 当 額)	(551,145,035)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 585,817,155)
分 配 準 備 積 立 金	686,064,963
繰 越 損 益 金	△ 572,643,157

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するため要する費用
当ファンドの投資対象である親投資信託の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、信託約款第39条に規定する計算期間を通じて毎日、投資信託財産の純資産総額に年10,000分の80以内の率を乗じて得た額を支払っております。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益（0円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（551,145,035円）および分配準備積立金（1,327,493,339円）より分配対象収益は1,878,638,374円（10,000口当たり439円）であり、うち641,428,376円（10,000口当たり150円）を分配金額としております。

■分配金のお知らせ

決 算 期	第4期
1万口当たりの分配金（税込み）	150円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しております。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

【分配原資の内訳】

（単位：円・1万口当たり・税込み）

項 目	第4期
	(2020年1月16日～2020年7月15日)
当期分配金	150
(対基準価額比率)	(1.475%)
当期の収益	—
当期の収益以外	150
翌期繰越分配対象額	289

(注1) 「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

(注2) 「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド

運用報告書

《第2期》

決算日：2020年7月15日

(計算期間：2019年7月17日～2020年7月15日)

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに、期中の運用状況についてご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として先進国の医療テクノロジー関連企業の株式に投資を行うことにより、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。個別銘柄選択を重視した運用を行います。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。運用にあたっては、CPRアセットマネジメントに運用の指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	先進国の医療テクノロジー関連企業の株式
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。同一銘柄の株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。

■設定以来の運用実績

決 算 期	基準価額	期 中	株式組入 比 率	純 資 産 総 額
		騰 落 率		
(設 定 日) 2018年7月31日	円 10,000	% —	% —	百万円 4,750
1 期 (2019年7月16日)	10,859	8.6	98.5	41,223
2 期 (2020年7月15日)	11,826	8.9	97.2	42,042

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額(10,000円)、純資産総額は設定元本を表示しております。

(注2) 当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基準価額	騰 落 率	株式組入 比 率
(期 首) 2019年7月16日	円 10,859	% —	% 98.5
7 月 末	11,139	2.6	98.1
8 月 末	10,854	△ 0.0	97.2
9 月 末	10,763	△ 0.9	98.0
10 月 末	11,047	1.7	98.0
11 月 末	11,599	6.8	99.0
12 月 末	11,830	8.9	98.5
2020年1 月 末	12,063	11.1	98.2
2 月 末	11,118	2.4	97.1
3 月 末	10,092	△ 7.1	97.7
4 月 末	11,122	2.4	96.9
5 月 末	11,499	5.9	97.1
6 月 末	11,313	4.2	97.1
(期 末) 2020年7月15日	11,826	8.9	97.2

(注) 騰落率は期首比です。

【基準価額等の推移】

第2期首	10,859円
第2期末	11,826円
騰落率	8.9%



【基準価額の主な変動要因】

上昇要因

- ①2019年10月から2020年2月にかけて、米中貿易摩擦の緩和、英国のEU（欧州連合）離脱問題の決着、好業績などで株式市場全般が極めて堅調に推移したこと
- ②2020年3月下旬から6月上旬にかけて、各国の積極的な財政金融政策や、新型コロナウイルス対策への期待を支えに株式市場が大きく反発したこと
- ③同期間において、診断機器や呼吸補助機器など、一部の医療テクノロジー銘柄には、新型コロナウイルス対策の需要が追い風となったこと
- ④2019年9月から2020年2月にかけて円安傾向で推移したこと

下落要因

- ①2020年2月下旬から3月下旬にかけて、新型コロナウイルスの世界的な流行で景気の不透明感が著しく強まり、株式市場が全面安となったこと
- ②同期間以降、特に整形外科、歯科、眼科や心血管関連の銘柄の一部が、予定手術や治療措置の先送りなど、新型コロナウイルスの影響を強く受けて足元の業績が悪化したこと
- ③2020年2月下旬から3月中旬にかけて円高となったこと

【投資環境】

<世界株式市場>

世界株式市場は、2020年2月まで最高値更新が続いたのち、激しい値動きとなりましたが、1年間を通してみると米国市場を中心に上昇しました。当月初の株式市場は米中貿易摩擦が重荷となっていました。2019年10月以降、主要中央銀行が金融緩和姿勢を強める中、米中貿易摩擦の緩和観測が高まり、英国のEU（欧州連合）離脱問題の決着や好業績期待も強まったことなどから大幅に上昇しました。しかし、新型コロナウイルスの中国外での感染拡大が明瞭となり、移動制限などの景気への影響が懸念され始めた2月下旬から急落しました。原油価格の暴落も不透明要因となり、3月下旬までの株価下落の大きさとスピードは歴史的なものとなりました。大規模経済対策への期待から株価は3月下旬に反発に転じ、新型コロナウイルス対策の成功と移動制限解除への期待から6月上旬まで続伸しました。6月中旬以降は感染第2波や米中関係悪化への懸念が逆風となる一方、低金利と一部の景気指標の改善が支えとなる展開が当期末まで続きました。

セクター別にみると、情報技術は2020年2月まで極めて堅調であったことに加え、3月の急落後の反発で再び最高値を更新しました。一方、エネルギーはもともと出遅れが目立っていたことに加えて、3月の下落が大きく、それ以降の反発も鈍いまま当期末を迎えました。ヘルスケアは3月の急落前の水準をほぼ回復して当期末を迎え、情報技術に次ぐ好パフォーマンスとなり、医療テクノロジー関連も当期末にかけて当月初の水準まで戻しました。

<為替市場>

当期の米ドル/円相場は、108円前後で始まり、2019年10月以降円安傾向で推移し、2020年2月には112円台を記録しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、3月上旬には102円前後まで急速な円高となりました。この局面では豪ドルなど資源国通貨の下落が米ドル以上に大きなものとなりました。その後は米ドル現金保有に対する需要が強まり、3月下旬に再び110円を超えたものの、3月下旬以降は米国の積極的な金融緩和が効いて米ドル不足は解消し、当期末の107円前後まで円高・米ドル安傾向となりました。

【ポートフォリオ】

当ファンドは、バリュエーションと業績見通しなどの変化に対応して銘柄入替えと組入比率の調整を行いながら、50銘柄あまりから構成されるポートフォリオ運用を行いました。期を通じて高い組入れを維持したのは、アボットラボラトリーズ、メドトロニック、ダナハー、ベクトン・ディッキンソンなどで、ダナハーやアボットラボラトリーズなど診断機器に強い銘柄は3月下旬以降に大きく上昇しました。また、デクスコムなど糖尿病関連は期を通じて堅調でしたが、心血管関連や整形外科関連銘柄では、新型コロナウイルスのために手術が先送りされる影響で2月以降の下落が大きい銘柄もみられました。新規投資銘柄はジンマー・バイオメット、オリンパス、フィッシャー&バイケル・ヘルスケアなど、全売却はライト・メディカル、メリット・メディカル、カーディオバスキュラー・システムズなどです。市場別では期初80%超であった米国への配分が74%台に減少し、その分を当期前半は日本を含むアジア・オーストラリア、当期後半には欧州に再配分しました。

(CPRアセットマネジメント)

【今後の運用方針】

短期的には、マクロ経済指標、新型コロナウイルス関連のニュース、米大統領選挙、地政学的な緊張などが引き続きリスク要因ですが、超低金利の長期化観測が株価を支えるものとみられます。医療テクノロジー銘柄は、こうした目先の困難な状況を乗り越え、長期的な成長を維持することができると期待しています。多くの治療領域でイノベーションがみられること、テクノロジーの一段の普及、安定的な価格設定、新興国での需要拡大などが長期的な追い風となっています。コンセンサス予想に基づくバリュエーションはやや高いものの、コンセンサス予想は当セクターの成長を支える要因を過小評価していると考えます。引き続き、魅力的な新製品を市場投入して利益率の改善が見込まれ、売上高に対して短期的な逆風があっても耐え得る能力が高い、大型で多角化が進んだ銘柄を選好します。また、中小型銘柄の中では、新しい治療領域への進出、革新的な技術や新製品の発売といった成長要因に注目して銘柄を選別する方針です。

(CPRアセットマネジメント)

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第2期 (2019年7月17日 ～2020年7月15日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (株 式) (先物・オプション)	3円 (3) (0)	0.025% (0.025) (0.000)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式)	1 (1)	0.012 (0.012)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (2) (0)	0.014 (0.013) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	6	0.051	

期中の平均基準価額は11,203円です。

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 売買及び取引の状況 (2019年7月17日から2020年7月15日まで)

(1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上 場	千株 941	千円 2,673,321	千株 680	千円 2,129,475
	外 国	ア メ リ カ	百株 16,545 (1,028)	千米ドル 154,345 (-)	百株 23,460
ユ ー ロ			千ユーロ		千ユーロ
ド イ ツ		1,280	5,585	1,453	6,119
フ ラ ン ス		248	2,757	91	1,325
オ ラ ン ダ		592 (56)	2,397 (-)	1,119	4,785
ベ ル ギ ー		1,249	2,227	3,559	3,848
イ ギ リ ス		11,371	千英ポンド 4,868	4,459	千英ポンド 4,169
ス イ ス		636 (0.7)	千スイスフラン 7,521 (-)	956	千スイスフラン 11,752
ス ウ ェ ー デ ン		2,990	千スウェーデンクローナ 47,599	1,995	千スウェーデンクローナ 28,826

アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	デンマーク	百株 1,138	千デンマーククローネ 51,606	百株 464	千デンマーククローネ 15,449
	オーストラリア	197	千オーストラリアドル 4,197	110	千オーストラリアドル 2,461
	ニュージーランド	2,483	千ニュージーランドドル 4,886	300	千ニュージーランドドル 771

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨てです。ただし、単位未満の場合は小数で記載しています。

(2) 先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	その他先物取引	百万円 1,514	百万円 2,253	百万円 -	百万円 -

(注1) 金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)における日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	52,250,121千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	39,131,606千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	1.33

(注1) 単位未満は切捨てです。

(注2) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

■主要な売買銘柄 (2019年7月17日から2020年7月15日まで)

株 式

買		付			売		付		
銘	柄	株数	金 額	平均単価	銘	柄	株数	金 額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
ABBOTT LABORATORIES(アメリカ)		146	1,341,688	9,174	ABBOTT LABORATORIES(アメリカ)		181	1,661,621	9,145
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC(アメリカ)		82	1,202,892	14,630	MEDTRONIC PLC(アメリカ)		117	1,409,642	12,012
MEDTRONIC PLC(アメリカ)		107	1,180,023	10,972	INTUITIVE SURGICAL INC(アメリカ)		17	1,093,090	61,093
HOLOGIC INC(アメリカ)		142	777,320	5,469	BECTON DICKINSON(アメリカ)		35	975,230	27,624
TELEFLEX INC(アメリカ)		20	777,133	37,955	DANAHER CORP(アメリカ)		55	909,421	16,495
BECTON DICKINSON(アメリカ)		25	698,246	27,544	STRYKER(アメリカ)		39	879,239	22,311
STERIS PLC(アメリカ)		39	636,008	16,230	BOSTON SCIENTIFIC(アメリカ)		197	878,460	4,445
DANAHER CORP(アメリカ)		38	631,912	16,497	INSULET CORP(アメリカ)		33	583,914	17,667
WEST PHARMACEUTICAL SERVICES(アメリカ)		34	577,362	16,629	IDEXX LABORATORIES INC(アメリカ)		19	582,408	29,413
INTUITIVE SURGICAL INC(アメリカ)		9	553,549	57,398	EDWARDS LIFESCIENCES CORP(アメリカ)		25	579,937	22,686

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) 金額は、外貨額を約定日の属する月の月末（決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

■利害関係人との取引状況等 (2019年7月17日から2020年7月15日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2020年7月15日現在)

(1) 国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
化学 (5.6%)			
富士フイルムホールディングス	—	38.6	183,157
電気機器 (15.8%)			
日本光電工業	—	40.4	148,672
シスメックス	—	45.8	367,087
精密機器 (78.6%)			
テルモ	145.6	141.3	566,047
オリンパス	—	329	662,441
H O Y A	118.7	105.8	1,148,988
朝日インテック	127.5	65.1	194,583

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
サービス業 (—%)			
エス・エム・エス	50.7	—	—
エムスリー	62.2	—	—
合 計	株 数・金 額	504	766
	銘柄数<比率>	5	7
			3,270,977
			<7.8%>

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注2) 合計欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注4) 一印は組入れなしです。以下同じ。

(2) 外国株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			業 種 等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ・・・ニューヨーク市場)	百株	百株	千米ドル	千円	
ABBOTT LABORATORIES	4,334	3,980	37,740	4,049,580	ヘルスケア機器・サービス
BAXTER INTL.	1,736	1,490	12,613	1,353,386	ヘルスケア機器・サービス
BECTON DICKINSON	891	791	20,848	2,237,058	ヘルスケア機器・サービス
BOSTON SCIENTIFIC	4,760	3,736	13,161	1,412,187	ヘルスケア機器・サービス
COOPER COS INC/THE	198	139	4,005	429,826	ヘルスケア機器・サービス
DANAHER CORP	1,982	1,813	33,638	3,609,380	ヘルスケア機器・サービス
HAEMONETICS CORP/MASS	—	124	1,094	117,421	ヘルスケア機器・サービス
HILL-ROM HOLDINGS INC	382	290	3,179	341,117	ヘルスケア機器・サービス
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	642	1,646	11,726	1,258,262	ヘルスケア機器・サービス
RESMED INC	440	470	9,180	985,029	ヘルスケア機器・サービス
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	—	612	7,600	815,527	ヘルスケア機器・サービス
STRYKER	1,085	914	16,709	1,792,896	ヘルスケア機器・サービス
TELEFLEX INC	—	164	5,961	639,656	ヘルスケア機器・サービス
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	76	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
VARIAN MED.SYS.	231	155	1,894	203,317	ヘルスケア機器・サービス
WEST PHARMACEUTICAL SERVICES	—	210	4,921	528,052	ヘルスケア機器・サービス
IQVIA HOLDINGS INC	159	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
STERIS PLC	—	275	4,217	452,573	ヘルスケア機器・サービス
CATALENT INC	389	262	2,084	223,687	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MEDTRONIC PLC	3,641	3,542	33,534	3,598,220	ヘルスケア機器・サービス
GLAUKOS CORP	364	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
PENUMBRA INC	224	104	1,948	209,109	ヘルスケア機器・サービス
(アメリカ・・・アメリカン市場)					
INTUITIVE SURGICAL INC	382	300	17,564	1,884,649	ヘルスケア機器・サービス
(アメリカ・・・米国店頭市場)					
ABIOMED INC	103	85	2,253	241,779	ヘルスケア機器・サービス
CONMED CORP	—	105	785	84,271	ヘルスケア機器・サービス
HMS HOLDINGS CORP	453	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
HOLOGIC INC	—	782	4,648	498,834	ヘルスケア機器・サービス

アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
IDEXX LABORATORIES INC	百株	百株	千米ドル	千円	ヘルスケア機器・サービス
MERIT MEDICAL SYSTEMS INC	329	264	8,956	961,006	ヘルスケア機器・サービス
ILLUMINA INC	535	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
ALIGN TECHNOLOGY INC	63	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
REPLIGEN CORP	254	210	6,316	677,737	ヘルスケア機器・サービス
OMNICELL INC	268	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
R1 RCM INC	263	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
DEXCOM INC	1,204	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
ATRICURE INC	422	299	12,306	1,320,488	ヘルスケア機器・サービス
CARDIOVASCULAR SYSTEMS INC	490	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
INSULET CORP	662	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
MASIMO CORP	342	183	3,595	385,765	ヘルスケア機器・サービス
ACCELERATE DIAGNOSTICS INC	190	191	4,289	460,295	ヘルスケア機器・サービス
ICON PLC	644	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TANDEM DIABETES CARE INC	162	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INOVALON HOLDINGS INC - A	—	246	2,403	257,852	ヘルスケア機器・サービス
DENTSPLY SIRONA INC	—	941	1,779	190,907	ヘルスケア機器・サービス
IRHYTHM TECHNOLOGIES INC	717	457	1,949	209,180	ヘルスケア機器・サービス
WRIGHT MEDICAL GROUP NV	364	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
	1,281	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	30,681 37	24,794 31	292,908 —	31,429,059 <74.8%>
(ユーロ・・・ドイツ)			千ユーロ		
SIEMENS HEALTHINEERS AG	708	536	2,235	273,666	ヘルスケア機器・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	708 1	536 1	2,235 —	273,666 <0.7%>
(ユーロ・・・フランス)					
BIOMERIEUX	—	155	1,944	238,028	ヘルスケア機器・サービス
SARTORIUS STEDIM BIOTECH	160	161	3,799	465,205	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	160 1	316 2	5,743 —	703,234 <1.7%>
(ユーロ・・・オランダ)					
KONINKLIJKE PHILIPS NV	3,267	2,797	11,893	1,456,114	ヘルスケア機器・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,267 1	2,797 1	11,893 —	1,456,114 <3.5%>
(ユーロ・・・ベルギー)					
FAGRON	759	765	1,423	174,228	ヘルスケア機器・サービス
BIOCARTIS NV	2,315	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,075 2	765 1	1,423 —	174,228 <0.4%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	7,211 5	4,415 5	21,295 —	2,607,243 <6.2%>
(イギリス・・・英国市場)			千英ポンド		
SMITH & NEPHEW	2,301	2,660	4,155	560,632	ヘルスケア機器・サービス
UDG HEALTHCARE PLC	2,130	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
CONVATEC GROUP PLC	—	8,683	1,662	224,355	ヘルスケア機器・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	4,432 2	11,343 2	5,818 —	784,988 <1.9%>

アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			業 種 等	
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(スイス・・・チューリッヒ市場) STRAUMANN HOLDING AG-REG (スイス・・・スイス電子市場) SONOVA HOLDING AG ALCON INC	百株 44 167 1,194	百株 18 106 962	千スイスフラン 1,600 2,112 5,103	千円 182,597 241,101 582,359	ヘルスケア機器・サービス ヘルスケア機器・サービス ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,407 3	1,087 3	8,816 — 1,006,058 <2.4%>		
(スウェーデン・・・ストックホルム市場) GETINGE	—	995	千スウェーデンクローナ 17,629	208,199	ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	995 1	17,629 — 208,199 <0.5%>		
(デンマーク・・・コペンハーゲン市場) GN STORE NORD COLOPLAST A/S DEMANT A/S	— 164 —	194 389 254	千デンマーククローネ 7,239 41,089 4,752	119,024 675,505 78,139	ヘルスケア機器・サービス ヘルスケア機器・サービス ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	164 1	838 3	53,082 — 872,668 <2.1%>		
(オーストラリア・・・オーストラリア市場) COCHLEAR LIMITED	—	86	千オーストラリアドル 1,626	121,956	ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	86 1	1,626 — 121,956 <0.3%>		
(ニュージーランド・・・ウエリントン市場) FISHER & PAYKEL HLTHCR.	—	2,182	千ニュージーランドドル 7,899	554,709	ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	2,182 1	7,899 — 554,709 <1.3%>		
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	43,896 48	45,744 47	— — 37,584,885 <89.4%>		

(注1) 邦貨換算金額は、2020年7月15日現在の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切捨てです。

■投資信託財産の構成 (2020年7月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 40,855,862	% 97.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,186,931	2.8
投 資 信 託 財 産 総 額	42,042,793	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当期末における外貨建純資産(38,398,482千円)の投資信託財産総額(42,042,793千円)に対する比率は91.3%です。

(注3) 外貨建資産は、当期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、2020年7月15日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=107.30円、1ユーロ=122.43円、1英ポンド=134.92円、1スイスフラン=114.11円、1スウェーデンクローナ=11.81円、1デンマーククローネ=16.44円、1オーストラリアドル=74.98円、1ニュージーランドドル=70.22円

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2020年7月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	42,042,793,773円
コール・ローン等	1,119,785,625
株式(評価額)	40,855,862,505
未 収 入 金	4,935,877
未 収 配 当 金	52,934,214
差 入 委 託 証 拠 金	9,275,552
(B) 負 債	798
未 払 利 息	798
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	42,042,792,975
元 本	35,549,675,364
次 期 繰 越 損 益 金	6,493,117,611
(D) 受 益 権 総 口 数	35,549,675,364口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	11,826円

(注記事項)

期首元本額	37,961,628,675 円
期中追加設定元本額	5,925,342,019 円
期中一部解約元本額	8,337,295,330 円

(当期末元本の内訳)

アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド(年2回決算型)	35,549,675,364 円
--------------------------------	------------------

■損益の状況

当期 自2019年7月17日 至2020年7月15日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	282,431,797円
受 取 配 当 金	281,691,124
受 取 利 息	807,939
そ の 他 収 益 金	200,882
支 払 利 息	△ 268,148
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	3,584,178,926
売 買 益	6,530,438,642
売 買 損	△2,946,259,716
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益	△ 33,689,384
取 引 益	2,540,381
取 引 損	△ 36,229,765
(D) そ の 他 費 用 等	△ 5,459,650
(E) 当 期 損 益 金 (A + B + C + D)	3,827,461,689
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	3,261,702,611
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	674,657,981
(H) 解 約 差 損 益 金	△1,270,704,670
(I) 計 (E + F + G + H)	6,493,117,611
次 期 繰 越 損 益 金 (I)	6,493,117,611

(注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。